

朝霞市立朝霞第三中学校 1 学年 国語科 シラバス

◆国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

◆評価の観点

<知識・技能>

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしようとしている。(漢字、表現技法、書写、古典、情報を整理する力など)

<思考・判断・表現>

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしようとしている。(話す・聞く能力、書く能力、読む能力など)

<主体的に学習に取り組む態度>

言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。(自らの学習を調整しようとしている態度、粘り強い取組を行おうとしている態度など)

◆主な学習内容

月	単元	教材	月	単元	教材
4	言葉に出会うために	朝のリレー	10	4 心の動き	聞き上手になるう
		野原はうたう			漢字2 漢字の音訓
5	1 学びをひらく	はじまりの風	11	5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ
		言葉1 音声の仕組みや働き			根拠を明確にして書こう
		話の構成を工夫しよう			文法への扉2 言葉の関係を考えよう
6	2 新しい視点で	漢字1 漢字の組み立てと部首	12	6 いにしへの心にふれる	大阿蘇
		ダイコンは大きな根?			古典の世界
		ちょっと立ち止まって			いろは歌
7	3 言葉に立ち止まる	情報を整理して説明しよう	1	7 価値を見いだす	蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から
		言葉2 指示する語句と接続する語句			今に生きる言葉
		言葉3 さまざまな表現技法			「不便」の価値を見つめ直す
8	4 心はそばに	空の詩 三編	2	8 自分を見つめる	話題や展開を捉えて話し合おう
		比喻で広がる言葉の世界			研究の現場によるこそ
		文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう			少年の日の思い出
9	4 心の動き	語彙を豊かに	3	8 自分を見つめる	文法への扉3 単語の性質を見つけよう
		読書を楽しむ			二十歳になった日
		本の中の中学生			構成や描写を工夫して書こう
		大人になれなかった弟たちに……			漢字3 漢字の成り立ち
		星の花が降るころに			一年間の学びを振り返ろう
		項目を立てて書こう			ぼくが ここに
		言葉4 方言と共通語			

第1学年 社会科 シラバス

1 各分野では、どんな力をつけようとしているのかな？～社会は社会人になるための学習～

◆社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

○地理的分野では、人間はどんな環境条件の下にどんな社会を築き、現代社会にはどんな社会が見られるのかについて学ぶことを通して、日本の国土や世界を認識すること。また、事象を地域的観点から考えることで空間に関わる思考を持たせるために学習するのです。そして、これらの学習を通して、地域調査など具体的な活動を通して地理的事象（生活環境や気候、地形、土地の風土や文化、風習など）に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。

○歴史的分野では、「歴」とは過去の出来事をさし「史」はそれを記したものをいい、資料を仲立ちに過去を再構成したものが歴史です。人間は常に過去の事象を学んで、現在のある姿の由来をとらえ、未来への指針を得ているために学習するのです。そして、これらの学習を通して、具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多角的に考察し公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。私たちの暮らす現代社会を形成してくれた多くの「人」を学び、その功績に関心を持つことも良き社会人になるために必要な知識です。

○公民的分野では、義務教育9年にわたる社会認識の教育の成果を総合し完結させることにより、生徒一人一人が自立した社会人として生きることができるための資質の基礎を育成するために学習するのです。そして、これらの学習を通して、社会的事象を確実な資料に基づいて様々な角度から考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。

2 社会科の観点別評価

◆評価の観点

○知識・技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

◆評価の方法

- ・発表やグループワーク等による授業への参加態度、プリント等への取り組み
- ・自分で工夫した勉強
- ・定期テスト → 問題別に点数を集計

◎ 主体的に学習に取り組む態度の評価について

主体的に学習に取り組む態度には「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」があります。授業態度、提出物、テストの点数等、様々な評価資料を基に、総合的に評価をします。

4 1年生では、どんなことを学習するのかな？

月	分野	章	節	時数
4 5	地理分野	第1編 世界と日本の姿	第1章 世界の姿	8
			第2章 日本の姿	7
第2編 世界のさまざまな地域		第1章 世界各地の人々の生活と環境	11	
		第2章 世界の諸地域	30	
		1節 アジア州—急速な都市の成長と変化—		
		2節 ヨーロッパ州—国どうしの連合による変化—		
		3節 アフリカ州 —国際的な支援からの自立に向けて—		
		4節 北アメリカ州 —多くの人々をひきつける地域—		
		5節 南アメリカ州—開発の進展と環境問題—		
		6節 オセアニア州—強まるアジアとの結びつき—		
10 11	歴史分野	第1章 歴史へのとびら		1節 歴史をとらえる見方・考え方
2節 身近な地域の歴史			4	
12 1		第2章 古代までの日本	1節 世界の古代文明と宗教のおこり	6
			2節 日本列島の誕生と大陸との交流	4
			3節 古代国家の歩みと東アジア世界	10
1 2		第3章 中世の日本	1節 武士政権の成立	10
			2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	11

教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- ①数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

「評価規準」に準じて行う。授業参加姿勢、定期テスト、提出物の状況等を総合的に評価する。

※単元テストは1学期のみ

評価の観点 (評価の方法)

- ① 知識・技能 (定期テスト・単元テスト)
- ② 思考・判断・表現 (定期テスト・単元テスト・発言)
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 (授業参加・発言・提出物・定期テスト・単元テスト)

学習上の注意・助言

- ・ 聞くべき時は集中して聞く。
- ・ 忘れ物をしない。
- ・ 発表や質問を積極的にする。
- ・ 疑問に思ったことはそのままにせず質問する。
- ・ ノートをしっかりとる。
- ・ 普段から問題によく取り組み繰り返し練習し定着をはかる。

学習内容 (1 学年)

月	章	時数	節
4	0章 算数から数学へ 3時間	3	〈とびら〉どんなきまりがあるのかな? 1節 整数の性質
	1章 数の世界をひろげよう [正負の数] 25時間	4	〈とびら〉どんな数が入るのかな? 1節 正負の数
8		2節 加法と減法	
10		3節 乗法と除法	
2		4節 正負の数の利用	
6	2章 数学のことは身につけよう [文字と式] 18時間	1	章の問題 A
		—	章の問題 B p.60回★他教科関連(地理)
7	3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式] 14時間	8	〈とびら〉棒は何本必要な? 1節 文字を使った式
		6	2節 文字式の計算
		3	3節 文字式の利用
		1	章の問題 A
9	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例] 22時間	—	章の問題 B
		7	〈とびら〉何枚集まったのかな? 1節 方程式とその解き方
		6	2節 1次方程式の利用
		1	章の問題 A
10	5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形] 17時間	—	章の問題 B
		5	〈とびら〉どれくらい時間がかかるのかな? 1節 関数と比例・反比例
		7	2節 比例の性質と調べ方
		6	3節 反比例の性質と調べ方
11	6章 立体の見方をひろげよう [空間図形] 18時間	3	4節 比例と反比例の利用
		1	章の問題 A
		—	章の問題 B
		6	〈とびら〉どうやって作ったのかな? 1節 図形の移動 p.158 数学のまど★他教科関連(技術・家庭)
12	7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用] 10時間	8	2節 基本の作図
		2	3節 おうぎ形
		—	〈学びをひろげよう〉 デザインにひそむ数学
		1	章の問題 A
1	8章 図形の世界をひろげよう [図形] 18時間	—	章の問題 B p.186回★他教科関連(保健体育)
		3	〈とびら〉斜塔なのに、どうして…? 1節 いろいろな立体
		9	2節 立体の見方と調べ方
		5	3節 立体の体積と表面積
2	9章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用] 10時間	1	章の問題 A
		—	章の問題 B
		5	〈とびら〉チームにたりないものは…? 1節 データの整理と分析
		1	2節 データの活用
3	10章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用] 10時間	3	3節 ことがらの起こりやすさ
		—	〈学びをひろげよう〉 スポーツでもデータ活用
		1	章の問題 A
		—	章の問題 B
3	予備時間	13	

第1学年 理科 シラバス

・理科の目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

・評価の観点

① 主体的に学習に取り組む態度

自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。

② 思考・判断・表現

自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察・実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。

③ 知識・技能

自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。

・評価について

定期テストでの点数に加えて、授業・実験への参加態度、実験プリント、提出物などの平常の様子を加味して評価を出します。

・頑張っ欲しいこと

- ① 授業では…挙手や発言をして授業に顔を上げて参加しましょう。居眠りや私語は厳禁です。ノートやプリントの記入をしっかりと進めてください。
- ② 実験や観察では…積極的に手を出して参加すること。基本は実験班で行いますが、一人で実験ができるようになることが目標です。
- ③ 定期テストでは…授業ノートやプリントを中心に自分なりにまとめ直すような学習をしてください。また、教科書はもう一度読み直しておきましょう。ワークは複数回利用して、知識の定着を確認しましょう。

月 (週)		単元	章	時 数
4(2) 5(4) 6(4) 7(2) 9(1)	理 科 1	1. いろ いろな 生物と その共 通点 (26)	身近な生物の観察	2
			1章 生物の観察と分類のしかた	6
			第2章 植物の分類	9
			第3章 動物の分類	9
9(2) 10(4) 11(4) 12(3)	理 科 1	2. 身の まわり の物質 (27)	第1章 身のまわりの物質とその性質	8
			第2章 気体の性質	6
			第3章 水溶液の性質	7
			第4章 物質の姿と状態変化	6
1(3) 2(4) 3(2)	理 科 2	3. 身の まわり の現象 (26)	第1章 光の世界	9
			第2章 音の世界	5
1(3) 2(4) 3(2)	理 科 1		第3章 力の世界	12
4(2) 5(4) 6(4) 7(2) 9(3) 10(4) 11(4) 12(3)	理 科 2	4. 大地 の変化 (26)	第1章 火をふく大地	8
			第2章 動き続ける大地	7
			第3章 地層から読みとる大地の変化	11

本年度は並行型でおこないます。

週3時間の授業のうち、理科1を週2時間、理科2を週1時間で行う予定です。

理科1は生物、化学、物理(音・力)

理科2は地学、物理(光)

を学習していきます。よろしくお願ひします。

令和8年度 第1学年 英語科シラバス (学習活動計画)

朝霞市立朝霞第三中学校

(1) 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語 による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単 な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 年間学習活動計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	Unit 0 Nice to Meet You	・クラスメートとあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったりすることができるようにする。
		Unit 1 Hello, Everyone!	・自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができるようにする。
	5	Unit 2 Our New Teacher Grammar for Communication 1	・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができるようにする。 ・be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
		Unit 3 Our School Grammar for Communication 2	・知らないものや人についてたずねたり、いつ、どこなのかをたずねたりすることができるようにする。 ・疑問詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	6	Unit 4 Friends in New Zealand Grammar for Communication 3	・数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができるようにする。 ・名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
7		Stage Activity 1 “All about Me” Poster	・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができるようにする。
2 学期	9	Unit 5 My Brother in Hawaii	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができるようにする。
		Real Life English 1 Grammar for Communication 4	・コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 ・三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	10	Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K.	・自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができるようにする。
		Real Life English 2 Grammar for Communication 5	・身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができるようにする。 ・人称代名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。

	11	Unit 7 An Online Tour of the U.K. Real Life English 3 Grammar for Communication 6	<ul style="list-style-type: none"> ・今していることについて説明したり、たずねたりすることができるようにする。 ・徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができるようにする。 ・現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	12	Unit 8 Think Globally, Act Locally Real Life English 4 Stage Activity 2 My Hero	<ul style="list-style-type: none"> ・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができるようにする。 ・レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができるようにする。 ・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができるようにする。
		Unit 9 Winter Vacation	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができるようにする。
3 学 期	1	Real Life English 5 Grammar for Communication 7	<ul style="list-style-type: none"> ・旅先からの絵はがきを書くことができるようにする。 ・一般動詞の過去形を用いた分の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。
	2	Unit 10 This Year's Memories Real Life English 6 Grammar for Communication 8 Learning Literature in English	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができるようにする。 ・症状やこれまでの出来事などを伝えることができるようにする。 ・be 動詞の過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ・英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができるようにする。
	3	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出に残った出来事について発表することができるようにする。
		Let's Read Gon, the Fox	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができるようにする。

(3) 使用教材

教科書 NEW HORIZON (東京書籍)

問題集 基礎を築く (浜島書店版)、たて・よこドリル (正進社)、

(4) 評価方法

- ・定期テスト (100 点満点の結果) 観点は「表現」「理解」「知識」
- ・単語テスト、単元テスト (確認テスト)、スピーチ、英作文などの結果
- ・ノート、ワークの取り組み状況、提出状況
- ・授業での取り組み (挙手、発言、英語での言語活動)
- ・自己評価カード

以上の評価規準に照らし、総合的に評価・評定を行います。

- ・授業での取り組み（挙手、発言、英語での言語活動）
- ・自己評価カード

以上の評価規準に照らし、総合的に評価・評定を行います。

(5) 生徒のみなさんへアドバイス

- ・授業に集中し、挙手や発言をしたり、積極的に英語を使うようにしましょう。英語で言えることはなるべく英語で言いましょう。
- ・英語の先生や AET の先生と積極的に英語で会話をし、より多くの英語表現を学びましょう。
- ・予習、復習を必ずし、ノートやワークなどを使って学習事項の整理をし、理解を深めましょう。英語は毎日こつこつと学習して身につける教科です。試験前だけまとめて勉強しても身につけません。
- ・英語が苦手な人はまず、練習ノートに単語を書いて（+発音して）覚えることから始めましょう。そして、文章のしくみを覚え、たくさんの例文を覚えるようにするとよいでしょう。

音 楽 1 年

教科の目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
-------	---

評価規準

評価の観点	評価規準	方 法
知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習時の観察 ○実技発表 ○発表・授業プリント等の提出物 ○期末テスト
思考力,判断力,表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習時の観察 ○実技発表 ○発表・授業プリント等の提出物 ○期末テスト
学びに向かう力,人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習時の観察 ○発言・授業プリント等の提出物

使用教科書・使用教材

<ul style="list-style-type: none"> ○教芸 中学生の音楽 1 ○教芸 中学生の器楽 	<ul style="list-style-type: none"> ○箏、和太鼓、リコーダー、鑑賞資料、鑑賞用CD、DVD、BD、合唱パート別CD
--	---

「教育に関する3つの達成目標」との関連

規律ある態度で授業を受け、音楽に関する表現や発表、鑑賞する態度をしっかりとさえる。「みんなができる、みんなのできる」の実感を持たせる。

【第1学年】標準授業時数 45時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト【評価方法】
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○校歌、発声他 ○歌唱「主人は冷たい土の中に」 ○鑑賞 四季より「春」 ○歌唱「浜辺の歌」 ○アルトリコーダー ○合唱コンクール曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい級友と心を合わせて歌う楽しさを知り、意欲的に歌唱表現をする。【活動観察、演奏聴取】 ・曲の構成を感じ取って演奏する。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】 ・ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取る。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】 ・アルトリコーダーの運指を知り、その音色の雰囲気を感じながら多様な音楽のよさや美しさを味わう。 【活動観察、演奏聴取】 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを知る。 ・歌い合わせる喜び、発表しあう楽しさ、充実感を味わい、かつ、互いの努力を認め合う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞「魔王」 ○アルトリコーダー「オーラリー」 ○歌唱「赤とんぼ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容と曲想との関わりを感じ取る。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・アーティキュレーションを工夫し、曲にふさわしい表現を考え演奏する。【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】 ・情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞 箏曲「六段の調」 ○創作「音のつながり方」 ○三送会、卒業式の曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる箏の音楽を聴く 【活動観察、発言内容、プリント】 ・音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくる 【活動観察、作品発表】 ・合唱コンクールと同様に練習し、卒業生の門出を祝い、心をこめて高らかに歌う。【活動観察、演奏聴取、発言内容】

【学習の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- ② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【授業中のポイント】

- ・授業で使うものの準備をする。(→忘れると何もできない。限られた時間を大切に。)
- ・集中して制作に取り組む。(→より良い発想・作品につながる、ケガや失敗が少なくなるなど、メリットが沢山あります。)
- ・発想する際も制作する際も、手をできるだけ止めない。(→思わぬアイデアに繋がったり、上手く作れたりすることにつながる。)
- ・制作途中でも、授業終わりなどに周りの生徒の作品を見合い、お互い良い刺激をもらう。(→高め合おう！)

【家庭学習のポイント】

- ・常にアンテナを張ることを心がけましょう。自分は何が好きなのか、それはどうしてなのか。何かをキレイだな、いいな、と思った瞬間を覚えておいて、後でそれを分析する。そんなことの積み重ねが、美術で作品を制作する際にとても大切になってきます。

【成績の付き方】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
評価するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・人物クロッキー ・作品の完成度 ・材料用具を巧みに扱った結果の作品の美しさ ・色・形・素材等の特性を理解している選択か ・・・等 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・明確な作品の主題(テーマ性) ・豊かな発想、テーマを工夫して表現しているか ・DVD鑑賞カード ・・・等 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く最後まであきらめず制作しているか ・知識、技能、思考力、判断力、表現力を巧みに使った結果が提出物全てに表れているか ・提出期限を守れない人、授業に本気で取り組まない人等は減点します

【1年の制作のおおまかな流れ、補足】

1学期・・・オリエンテーション、レタリング、モダンテクニック、好き♡紹介(平面作品)

2学期・・・紙でここまでできます！栞づくり、Artで押し活(立体作品)

3学期・・・名画の謎に迫る(模写)

※1年を通して、授業の最初の5分間でクロッキー会を行います。

※学期の終わりや制作の途中に、学びに関連したDVDの鑑賞を行います。

※5月からアクリル絵の具を使います。ない場合は4月末の校内業者販売を活用して準備してください。

※持ち物、授業の受け方、評価の付け方の詳細は、授業中に説明します。

【学校教育目標】

- (1) 真理を求め、進んで学習する生徒
- (2) 自ら考え、責任を持って行動する生徒
- (3) 心身ともにたくましい生徒

【保健体育科の目標】

- ・運動に親しみ、自主的・自発的に学習に取り組む生徒の育成。
- ・自他の健康や安全に留意して、健康の増進と体力の向上に努める生徒の育成。
- ・発達段階に応じた技能を習得し、運動の特性や楽しさを味わうことのできる生徒の育成。

【授業】

体育・・・規律を確立させ、自主的、主体的に学ぶ。得意不得意に関わらず、自ら課題を見つけ、その解決にむけて個々のスキルアップを目指す。その中で、仲間との関わり合いを大切にすることでコミュニケーションを学んだり、声を出して体を動かすことで、前向きな気持ちや立ち振る舞いなどを質の高いものにする。また、科学的側面からも運動をとらえ、生涯にわたってなんらかの形でスポーツに親しむ姿勢を育てる。

保健・・・人間の体、健康や環境などについて発達段階に応じた学習をする。調べ学習を増やし、探究的に知識を深めていく。また、明るく豊かな生活を送るための態度が身に着くようにする。

【学習内容】

1 学期	2 学期	3 学期
<p>■体育に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝霞三中の体育について <p>◆体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動、整理運動、補強運動 ・自校体操 ・新体力テスト <p>◆陸上 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走、リレー <体育大会に向けて> ・走り幅跳び <p>◆器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動 ・マット運動 <p>◆水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水についての理解 ・クロール、平泳ぎ <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の発達と心の健康 	<p>※水泳のつづき（気候による）</p> <p>◆球技 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール <p>◆陸上 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の成り立ちと疾病の予防 <p>◆武道、ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●武道 ・柔道 ●ダンス ・創作ダンス 	<p>◆武道、ダンスの入れ替え</p> <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣と健康 <p>◆球技 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・バスケットボール <p>◆球技 III</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・サッカー

【評価について】

各単元の評価規準に準じて、①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点について評価を出す。各単元の評価を総合的に見て学期ごとの評価を出し、それをもとに評定を出す。

学校教育目標

- ・ 真理を求め、進んで学習する生徒
- ・ 自ら考え、責任を持って行動する生徒
- ・ 心身ともにたくましい生徒

技術・家庭科の目標

技術分野	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
家庭分野	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

生徒に頑張してほしいこと

- ①身近な生活から課題を発見し、自ら解決できるように創意工夫してみよう。
- ②生活の自立に必要な基礎的・基本的な事項を確実に身につけ、活用できるようにしよう。

学習内容

期 間	技 術 分 野 (前期)	家 庭 分 野 (後期)
前期 (1 学期 ～ 2 学期 途中)	<p>A 材料と加工の技術</p> <p>1. 材料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな材料 ・ 材料の特徴 ・ 材料と環境とのかかわり <p>2. 設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計の進め方 ・ 機能を考える ・ 材料を考える ・ 接合方法と仕上げ方法を考える ・ 製図 ・ 目的と作品の決定 ・ 構造を考える ・ 加工方法を考える <p>3. 木材による製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品表と工程表 ・ けがき ・ 切断 ・ 切削 ・ 穴あけ・溝ほり ・ 部品の検査と修正 ・ 組立て ・ 表面と角の仕上げ <p>材料と加工に関する技術とわたしたち</p>	<p>A 家族・家庭生活</p> <p>1 様々な家族・家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の成長と家族や地域の人々との関わり ②家庭のはたらきと家庭の仕事 <p>B 衣食住の生活</p> <p>1 衣服のはたらきと手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①衣服のはたらき ②繊維の種類と特徴 ③衣服の汚れと手入れ ④取り扱い表示と衣服の洗濯 ⑤資源や環境に配慮した衣服の入手と処分 ⑥和服の文化 <p>2 生活をよりよくするものをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ①製作の基礎 ②製作して活用しよう <li style="padding-left: 20px;">*タブレットケース作り
後期 (2 学期 途中 ～ 3 学期)	<p>B 生物育成の技術</p> <p>1 わたしたちの生活と生物育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物育成とは ・ 作物や家畜などの特性と生物育成の技術 ・ 生物育成のサイクル ・ 環境要因 ・ 土づくり、肥料 ・ 定植後の管理 ・ 栽培実習 ・ 栽培ごよみ ・ 生育の規則性と技術 ・ 種まき、定植 ・ 栽培計画 <p>D 情報の技術</p> <p>2 情報通信ネットワークの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラルと知的財産 	<p>B 衣食住の生活</p> <p>1 健康と食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ①食事について考える ②生活リズムと食事 ③栄養素のはたらきと食品 ④中学生に必要な栄養素 ⑤食事の計画